

ハナショウブ切り花の前処理温度と品質保持剤の効果

ハナショウブ切り花の前処理温度は 5 で花被伸長を抑える。また、STS(チオ硫酸銀錯塩)溶液による前処理は、開花時の花径が大きくなり、2 番花の開花率が向上する。

農業研究センター農産園芸研究所花き研究室(担当者:工藤陽史)

研究のねらい

熊本市を中心に湧水を活用してハナショウブ切り花が生産されているが、輸送中に開花が進むことや、花持ちが悪いことなどのため 5 月の節句用生け花の特定需要に限られている。また、肥後六花の 1 つである肥後花菖蒲は、切り花用のハナショウブより花が大きく魅力的であるが、切り花にすると生け花後の花の開きや日持ちが悪い。そこでこれらのハナショウブ切り花の品質保持剤の処理効果を明らかにする。

研究の成果

- 1 切り花の吸水量および切り花重割合は、低い温度で生け水するほど少なく、5 で花被の伸長抑制効果が高い(図 1、図 2)。
- 2 0.2mM STS(チオ硫酸銀錯塩)溶液で前処理すると 1 番花の花径の拡大および 2 番花の開花率が向上する(表 1)。

普及上の留意点

- 1 ハナショウブ切り花は細菌に弱いので、前処理は抗菌剤を含む K-20C 等を使用することが望ましい。

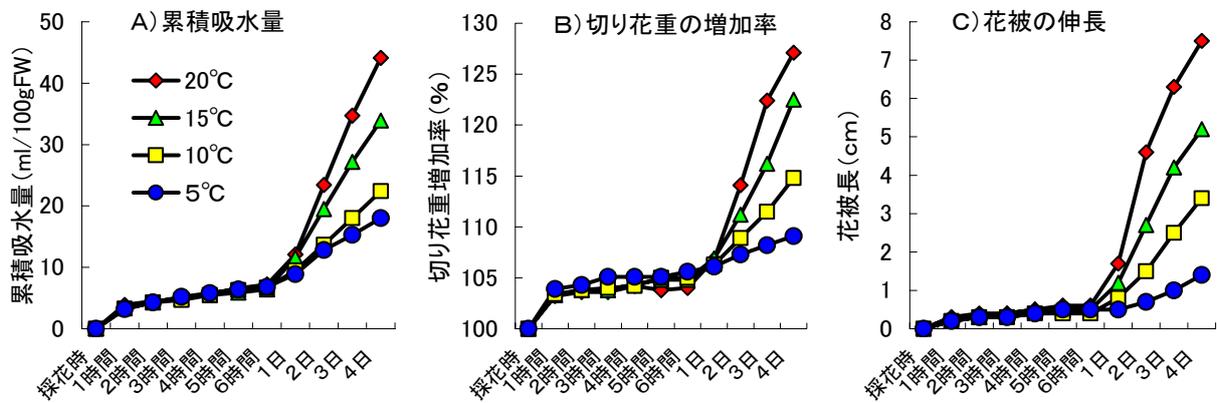


図1 気温が吸水量,切り花重量および花被の伸長に及ぼす影響 品種‘簞の追風’ (肥後系)

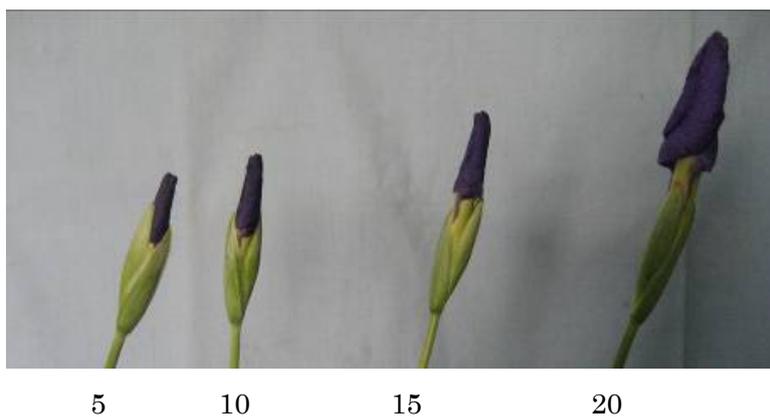


図2 気温が花被の伸長に及ぼす影響 (品種 ‘簞の追風’ 肥後系)

表1 STS処理が生け花後の開花および日持ちに及ぼす影響 品種 ‘巻雲’ (肥後系)

試験区	1番花				2番花			
	開花率 (%)	花径 ^z (cm)	開花 要日数 ^y (日)	開花 ^x 日数 (日)	開花率 (%)	花径 (cm)	開花 要日数 (日)	開花 日数 (日)
0.2mM STS	100	18.4	1.9a	2.4a	60	16.7	8.2	2
水道水	100	16.4	2.0a	2.4a	20	15.5	7.0	2

注) 1. 品質保持検定は、25℃設定の恒温室内、12時間照明(9~21時)条件で行った。

2. ^z最大に花弁が開いた時の花径

^y生け花開始から開花までに要した日数, ^x開花して萎れるまでの日数